

# 歴研よこはま

第八十七号

特集『城』



国宝 松本城



横浜歴史研究会

題字: 熊本修一會長

# 87号 目次

卷頭言

熊本修(1)

## 特集「城」

- 武田氏館 ..... 高野賢彦(2)  
国宝 大山城 ..... 丸山雅子(4)

もう二つの二条城

高橋正一(8) 長田 格(10)

津和野城

金子ユカリ(14) 横 良生(18)

佐和山城と石田三成

信貴山城と梶原久秀

水漬く屍・草むす屍

松尾 光(22)

## 特別寄稿

大伴氏に忠誠はあつたか

青柳敏行(73)

## 歴史研究

大伯皇女—夏見廃寺 その四

遠田千代吉(26)

「弥生時代」という時代名は妥当であるか

木村高久(30)

生麦事件から見た十九世紀の世界と地域

酒井晴雄(34)

新茶の香りの駿河路に家康ゆかりの地を訪ねる

(41)(38)

## 第一特集 バスツアーア

説明資料

遠田千代吉・高田 茂・丸山雅子・真野信治  
平 博子・雨宮美千代  
追想 積年の思いに出会う旅

高尾 隆(48)

## エッセイ

寒中みそぎに想う(木古内紀行)

槇 良生(50)

人口減少データからたどる逆算の鎌倉時代 江泉良幸

城防御と孫子・墨子 色葉匂へど その11 宮下 元

洛西散策 我が庵周辺を楽しむ④南 高橋正一

和魂・荒魂 清柳敏行

渋沢栄一翁外伝 加藤尊男

人と社会(留学時代の思い出から) 石井哲也

俳壇 青柳敏行(73)

竹内章二・長尾正和・森 彩子・田代信太郎

高島 治・藤盛詔子・渡辺美智子・瀧井和夫

研究発表要旨

おすすめ本コーナー

高田 茂・石井昭徳・飯山晴美・木村高久  
春の歴史散歩

インタビュー田代信太郎さん

竹内裕子  
勉強会①古文書入門講座

竹内裕子  
勉強会②パワー・ポイント入門講座

新入会員 自己紹介

鈴木春信・石川秋子・細谷英敏・小川眞一  
白水和憲・武田憲一・隈河伸雄・小林啓介

吉田友雅

追悼の辞 安部義則さんを偲ぶ

活動報告

受贈図書・原稿作成時の参考事項

会報記事募集

編集後記



# 横浜市開港記念会館復帰 研究の成果を語り継いだ40余年の学び舎

横歴の例会会場

横歴の会員にとって一番大切な場所が月例の会場である。当会では過去40数年の間、主に横浜市内にある横浜市開港記念会館を主会場として開催してきた。同会館はジャックの塔の愛称で親しまれている。外観同様に例会に使用する部屋も歴史を学ぶ教室にふさわしい重厚で趣のある仕様となっている。

## 会場探しが運営の最重要課題

開港記念会館は国の大切な建造物であるがゆえに、建物の恒久的保存のため幾度となく保全工事が行われる度に他の開催場所を探すのが大変でした。

直近では令和2年、コロナ禍が蔓延し始めてからは現在の約100名収容の会議室から、座席間隔を十分確保できる講堂で行うようになった。しかし令和4年12月から会館の保全工事が開始され、広さに余裕のある関内ホール（小ホール）や技能文化会館等を使用しながら継続してきた。そして令和6年春に工事が完了し、9月から開港記念会館の会議室での例会が再開した。これからも横歴は同会館の使用が許される限り、我々の聖地として共に歩んでいく。



この古き良き教室感こそ会の伝統です。

## お世話になった施設 今後も利用します。

(右)技能文化会館



(右下)波止場会館



(下)関内小ホール



発表者との距離感がいいのです。



「久しぶり」帰ってきましたよ。

会員同士が仲良く袖触れあう良さ。



## 歴研よこはま 第87号

令和6年11月30日発行

編集委員 長田 格（編集長）

遠田千代吉、金子ユカリ

発行人 熊本修一

発行所 横浜市鶴見区豊岡町24-6  
横浜歴史研究会



検索

横浜歴史研究会

公式ホームページ

[www.yokoreki.com](http://www.yokoreki.com)

連絡・お問合せ 横歴メールアドレス

[info@yokoreki.com](mailto:info@yokoreki.com)

